

## 日本海を舞台に繰り広げられた感動の古代ロマン

# 「翡翠と蛇紋岩を求めて

# ～縄文丸木舟日本海をゆく」

## 記録誌を発刊

次々と新たな発見により、縄文時代の歴史を塗り替えた富山県小矢部市の「桜町遺跡」。 「貫穴」等の施された加工木材の出土により、高床建物がすでに縄文時代にあったことを立証し、また、発掘された栗のDNA鑑定では、栗の栽培と定住生活が始まっていたことを示し、更に、用途不明のY字材や不思議な彫刻柱など、重要な発掘成果の数々は、今も私たちに縄文人の高度な精神文化、生活文化を探る手がかりを与えています。

その桜町遺跡から出土した「翡翠の勾玉」そして、石斧に使われていた「蛇紋岩」。これらは、新潟県糸魚川市の姫川に産する貴重な「石」であり、当時の桜町縄文人が、遠く糸魚川の縄文人と交易していたことを示すものと考えられています。

平成18年、現代の桜町縄文人が行ったこの事業は、当時、海上の交易ルートがあったことを実証しようとしたものです。

直径1.1mの巨大な杉を割り抜き、縄文丸木舟を制作するところから始め、多くのボランティア、子ども達の協力と、関係機関の理解のもと、桜町遺跡の傍を流れる子撫川から小矢部川を下り、姫川河口までの110kmを手で漕ぎ渡った古代の冒険とロマンの旅には、多くのドラマが繰り広げられました。

今回の記念誌は、その感動に満ちた航海の記録をまとめたものです。

縄文から4千年の時を越えて再現した丸木舟の物語を、日本海の波のきらめきと熱い思いを感じながら読んでいただければ幸いです。

発刊者 富山県小矢部市「桜町石斧の会」 代表 山本 護(連絡先 0766-67-3939)

# 翡翠と蛇紋岩を求めて～縄文丸木舟 日本海をゆく 記念誌出版事業

桜町石斧の会

## 1 記念誌出版事業の概要

- 1 発行 桜町石斧の会
- 2 協力 日本海学推進機構
- 3 完成 平成20年3月

## 2 縄文丸木舟による日本海航海事業の概要

- 1 主催者 桜町石斧の会

### 2 事業の目的

桜町遺跡では、丸木舟の部材と推定される木片が出土しており、一方、蛇紋岩を使った石斧や翡翠の勾玉も出土している。これらの石は、新潟県糸魚川市の姫川にしか産出されておらず、桜町の縄文人が、遠く姫川の縄文人と交易していたと考えられている。

今回、桜町石斧の会が取り組んだ縄文体験事業は、桜町に住む縄文人が、蛇紋岩と翡翠を求めて、遺跡近くの子撫川から丸木舟を漕ぎだし、日本海を約85Km航海し、姫川の縄文人と交易していた可能性を実証するという壮大な古代の海のロマンと夢を形にしようとしたもの。

海、山、川...自然の中で、縄文人は、何を感じ、何を祈り、どう生きていたのか。「縄文体験」というタイムトンネルをくぐることで、日本の原風景を探り、現代社会に、縄文人の心と未来社会への示唆を、そして地域社会に「元気」を贈りたいと考えた。

自然と闘い、自然を崇め、自然とともに生きてきた縄文人の智恵、勇気、たくましさを現代の人々に示し、日本人の心の原点ともいうべき「縄文文化」と海との関わりに、より多くの人たちが関心をもつようになることをめざした。

### 3 協力

- ・公共機関：小矢部市、小矢部市教育委員会、糸魚川市教育委員会
- ・ボランティア団体：桜町縄文NETの各会、糸魚川市長ヶ原遺跡友の会
- ・地元団体：子撫地区振興会、子撫木遣り保存会
- ・安全協力：伏木海上保安部、小矢部消防本部、県内各漁業協同組合  
海運各社（伏木海陸運送㈱、富山港湾運送㈱、日本通運㈱富山港支店）

- 4 広報協力 新聞各社、テレビ、ラジオ局各社、小矢部市ケーブルテレビ

- 5 特別協力 日本財団、富山県セーリング連盟

- 6 原木協力 氷見木材

- 7 航海ルート 子撫川 小矢部川 日本海 糸魚川市須沢臨海公園

- 8 航海距離 約110Km（川：約25Km 海：約85Km）

8 航海日程 平成18年8月4日～6日(2泊3日)

9 航海スタッフ

総勢 約70名 石斧の会 12名  
ボランティア 約60名

10 航海の方法

- ・漕ぎ手編成 4人一組で1クルーを編成
- ・約2Km(40分～1時間)で交代
  - 海上での交代 ...伴走船が丸木舟に接舷し、漕ぎ手を交替
  - 陸での交代 ...丸木舟を砂浜に近づけ、漕ぎ手を交替

11 航海の経過 後述

12 ゴールした後の事業

- (1) 到着歓迎セレモニー 平成18年8月6日 13:30～
  - 主催 糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会
  - 場所 須沢臨海公園にて
  - 参加者 航海スタッフ、友の会、一般観客 約200名
- (2) 歓迎交流会 平成18年8月6日 15:00～
  - 主催 糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会
  - 場所 長者ヶ原遺跡にて
  - 参加者 航海スタッフ、友の会 約100名
- (3) 到達祝賀会 平成18年9月2日 16:00～
  - 主催 石斧の会
  - 場所 桜町JOMONパーク
  - 参加者 航海スタッフ、縄文NET、協力者 約100名

13 救急安全対策

- ・参加者に救命講習会を実施 平成18年7月17日
- ・陸路下見 平成18年4月29日・6月25日
- ・海路下見 平成18年7月16日
- ・伴走体制 海上 伴走船2隻、救命ボート1隻  
陸上 伴走車9台(食糧車、荷物運搬車含む)
- ・心肺蘇生法会得者(小矢部市消防署員)がボランティアとして伴走船に同乗
- ・予備として、アウトリガーを準備
- ・中断基準 風速8m/秒、波高50cm以上になると中断
- ・漕ぎ方練習を実施 平成18年7月22日 川での練習  
平成18年7月23日 海での練習  
転覆練習の実施  
速度の確認  
アウトリガーの確認
- ・海上保安部の許可
- ・小矢部市消防署、小矢部警察署、国土交通省小矢部出張所と協議
- ・沿岸の警察署への届け出
- ・沿岸の漁業協同組合への届け出(漁港の使用許可、定置網の位置確認等)
- ・海運会社((伏木海陸運送㈱、富山港湾運送㈱、日本通運㈱富山港支店)と協議

### 3 事業準備の経過（詳細）

#### （１）丸木舟用の原木の調達

- 3月23日 石斧の会員の知人と原木探し（高岡市福岡町地内の山林）
- 3月26日 石斧の会員が市内山林で原木調査（富山TVが取材）
- 4月1日 新聞で情報募集（4/1 北日本 4/2 富山新聞 4/5 北陸中日新聞）  
情報提供5件あり どれも太さ不足で採用できず
- 4月2日 氷見木材より情報提供あり
- 4月2日 氷見木材で確認  
小矢部市宮島地区産の杉（桜町遺跡の所在地は宮島地区）  
樹齢180年 太さ1.1m 長さ7m 重さ2t
- 4月3日 氷見木材に正式申し入れ
- 4月10日 氷見木材と運搬打合せ
- 4月13日 原木到着（桜町 JOMON パーク）

#### （２）ボランティア募集

小矢部市報

- 5月10日 5月号で募集...丸木舟づくりボランティア
- 6月10日 6月号で募集...丸木舟づくり、航海ボランティア
- 7月10日 7月号で募集...同上及び愛称募集、重量当てクイズも案内

募集チラシ作成・配布

- 4月下旬 お木曳き儀式参加ボランティア募集
- 6月上旬 「丸木舟に何人乗れるか日本一ネットにチャレンジ」参加者募集
- 6月下旬 愛称募集、重量当てクイズ案内

新聞による募集

随時、掲載

#### （３）丸木舟づくり

##### 概略

- ・原木 宮島杉  
樹齢180年 直径1.1m 長さ7m 重さ2t
- ・作業開始日 平成19年5月3日（木曳き・石斧入れ儀式）
- ・作業日（日数）毎週土日（延べ20日間）
- ・完成日 平成19年7月8日（火入れ儀式）
- ・大きさ 長さ6.7m 幅75cm 重さ247kg
- ・名前 「さくら丸」（公募の中から決定）
- ・作業人数 延べ約200人（市内小中学生、県内一般公募）
- ・試験進水 7月1日（小矢部市東部小学校プール）
- ・進水式 7月17日（「クロスランドおやべ」の池）

##### 詳細経過

- 4月23日 石斧づくり（作業用の石斧を制作）  
場所 小矢部市 JOMON パーク  
参加 石斧の会員 10人参加

- 5月 3日 「お木曳き・石斧入れの儀式」実施 【案内チラシ：別紙】  
 お木曳き 原木に綱を掛け作業場所まで人力で曳く儀式  
 石斧入れ 山の神に感謝し、舟の完成を祈る儀式  
 場所 小矢部市 JOMON パーク  
 参加 子供・一般・石斧の会員 約 60 人参加
- 5月 3日～ 作業開始 \* 毎週土日に作業を実施（延べ 20 日間）  
 場所 小矢部市 JOMON パーク  
 参加 小学生・一般・石斧の会員 延べ約 200 人参加
- 5月 13日 「子供達による丸木舟作り体験」実施  
 場所 小矢部市 JOMON パーク  
 参加 小学生・石斧の会員 約 40 人参加
- 6月 18日 「丸木舟に何人乗れるか日本一ネットに挑戦」を実施  
 【案内チラシ：別紙】  
 内容 ほぼ仕上がった丸木舟に何人乗れるかを試した  
 場所 小矢部市 JOMON パーク  
 参加 子供・一般・石斧の会員 約 60 人参加
- 7月 8日 「火入れの儀式」を実施  
 内容 火をつけた藁で舟を焦がす作業  
 目的 防腐、ささくれ取り  
 場所 小矢部市 JOMON パーク  
 参加 石斧の会員 10 人参加
- 7月 8日 完成（長さ 6.9m 幅 75cm 重さ 247kg）
- 7月 9日 磨き作業  
 内容 火入れで焦げた舟を石でこする  
 場所 小矢部市 JOMON パーク  
 参加 石斧の会員 5 人参加

**（４）丸木舟の P R 事業として、「愛称募集」及び「重量当てクイズ」を実施**

- 7月 1日 愛称募集開始 【募集チラシ：別紙】  
 \* 7月小矢部市報、新聞でも募集
- 7月 22日 重量当てクイズの正解を発表  
 市民イベント「源平火牛まつり」会場に丸木舟を展示  
 場所 小矢部市石動地区商店街
- 206 通の応募あり  
 その場で重量を測定 247kg  
 イベント会場の舞台上で重量当てクイズ当選者を発表  
 正解者は無し 正解に最も近い人 3 人に景品を進呈  
 景品：古代米ほか
- 7月 22日 愛称募集締め切り 110 通の応募あり  
 7月 23日 石斧の会において愛称審査 「さくら丸」に決定  
 7月 28日 愛称「さくら丸」を発表  
 7月 31日 丸木舟の船首に「さくら丸」を彫り込み

( 5 ) 丸木舟の試験進水

6月19日 東部小学校と打ち合わせ

7月 1日 試験進水を実施 = 丸木舟のできあがり状態を確認  
 場所 小矢部市東部小学校プール  
 参加 一般・石斧の会員 約15人参加

( 6 ) 丸木舟進水式

7月17日 丸木舟の完成を祝って、進水式を実施  
 場所 文化交流施設「クロスランドおやべ」の池  
 参加 ボランティア・一般・石斧の会員 約60人参加

( 7 ) アウトリガー制作

7月20日 予備のため、アウトリガーを制作  
 片側アウトリガーとする  
 長さ 約4m  
 \* 出土した丸木舟には、アウトリガーを取り付ける  
 ために使ったと思われる「穴」がないため、今回  
 のアウトリガーは棒と紐で取り付ける方法を採用

( 8 ) 関係機関との調整

5月15日 伏木海上保安部と打ち合わせ

5月18日 海運会社3社(伏木海陸運送株、富山港湾運送株、日本通運株富山港支店)と打ち合わせ  
 5月18日 富山県漁業協同組合連合会と打ち合わせ  
 以降、随時、沿岸の漁業協同組合に電話、faxで届け出

6月 8日 伏木海上保安部と再打ち合わせ  
 7月19日 許可申請提出 7月24日 許可

6月 8日 海運会社(伏木海陸運送株)と打ち合わせ  
 6月 8日 富山県警本部と打ち合わせ  
 以降、随時、沿岸の警察署に電話、faxで届け出

6月 8日 富山県庁港湾空港課と打ち合わせ

6月16日 国土交通省小矢部出張所と打ち合わせ  
 6月16日 小矢部警察署と打ち合わせ  
 6月16日 小矢部市消防本部と打ち合わせ

( 9 ) 救命講習会

7月17日 緊急時に備えて、救命講習会を実施  
 ・場所 上記「クロスランドおやべ」の「ふれあいハウス」  
 ・講師 小矢部消防署救急救命士  
 ・参加 ボランティア・石斧の会員 約30人参加

( 10 ) 川での漕ぎ方練習

7月22日 出発地点の子撫川で丸木舟の漕ぎ方練習を実施  
 ・場所 小矢部市子撫川  
 ・参加 ボランティア・石斧の会員 約20人参加

( 1 1 ) 海での漕ぎ方練習

- 7月23日 海での実践的な漕ぎ方練習を実施
- ・速度、転覆した場合の復元、アウトリガー等の確認
  - ・場所 富山湾（海竜マリーナ付近）
  - ・協力 富山県セーリング連盟
  - ・参加 ボランティア・石斧の会員 約15人参加

( 1 2 ) ルートの確認

陸上でのルート確認

- 4月29日 石斧の会員で糸魚川市長ヶ原遺跡の調査 10人参加
- ・場所 姫川河口、長者ヶ原遺跡
  - ・糸魚川市教育委員会、長者ヶ原遺跡友の会と交流
- 6月25日 石斧の会員で陸上でのルートの確認 6人参加
- ・伴走車ルート、野営場所、陸上からの丸木舟の視認等確認
  - ・経路 小矢部市～富山湾沿岸～糸魚川市

海上ルートの確認

- 7月2日 海フェスタに参加し、クルーザーで海の航海を体験
- ・場所 富山湾
  - ・参加 小学生の親子・石斧の会員 14人参加
- 7月16日 ボートで、海上ルート確認
- ・経路 富山新港～宮崎海岸
  - ・参加 石斧の会員・富山県セーリング連盟 9人参加

( 1 3 ) ボランティア説明会

- 7月17日 協力応募のあったボランティアに計画を説明（救命講習と同時開催）
- ・場所 上記「クロスランドおやべ」の「ふれあいハウス」
  - ・参加 ボランティア・石斧の会員 30人参加

( 1 4 ) 石斧の会での計画確認打ち合せ会

- 3月11日 計画打ち合せ 今回の計画を記者発表
- 4月8日 定期総会 計画打ち合せ
- 6月3日 計画打ち合せ
- 7月1日 計画打ち合せ
- 7月23日 計画打ち合せ・愛称審査 決定
- 7月29日 計画打ち合せ
- 7月30日 計画打ち合せ（最終）
- 7月31日 予定表をボランティア、関係者等に送付

## 4 航海の経過

### 概要

- (1) 第一日目 [ 8月4日(金) ]
- |       |                        |                     |
|-------|------------------------|---------------------|
| 5:00  | スタッフ集合                 | 出発地点(子撫川と小矢部川の合流地点) |
| 6:00  | 出舟式                    | 同上                  |
| 6:30  | 出航                     | 子撫川～小矢部川を川下り        |
|       |                        | * 航行距離 約 25 km      |
| 11:30 | 小矢部川河口「如意の渡し」(高岡市)到着   |                     |
|       | ＜ミーティング、昼食＞            |                     |
| 12:30 | 「如意の渡し」を出発             |                     |
| 18:30 | 岩瀬浜(富山市)到着             | * 航行距離 約 20 km      |
|       |                        | * 予定より約 4 km 手前で日没  |
| 野営    | ＜ミーティング、夕食＞ 「浜黒崎キャンプ場」 |                     |
- (2) 第二日目 [ 8月5日(土) ]
- |       |                            |                      |
|-------|----------------------------|----------------------|
| 4:00  | 出発準備                       |                      |
| 4:30  | 岩瀬浜を出発                     |                      |
| 11:30 | 経田漁港(魚津市)到着                | * 航行距離 約 20 km       |
|       | ＜ミーティング、昼食＞                |                      |
| 12:30 | 経田漁港を出発                    | …波が高いため、テトラポットの内側を航行 |
| 18:30 | あさひ海浜公園到着                  | * 航行距離 約 20 km       |
|       |                            | * 予定より約 6 km 手前で日没   |
| 野営    | ＜ミーティング、夕食＞ 「あさひ海浜公園キャンプ場」 |                      |
- (3) 第三日目 [ 8月6日(日) ]
- |       |                  |                |
|-------|------------------|----------------|
| 4:00  | 出発準備             |                |
| 4:30  | あさひ海浜公園を出発       |                |
| 12:30 | 須沢臨海公園(糸魚川市)沖に到着 | * 航行距離 約 25 km |
| 13:00 | 須沢臨海公園に到着        |                |

### 詳細経過

#### (1) 第一日目 8月4日(金)

##### 出舟式

- |     |                     |  |
|-----|---------------------|--|
| ・場所 | 出発地点(子撫川と小矢部川の合流地点) | 約 100 名人参加                             |
| ・内容 | 5:00 石斧の会集合         |  |
|     | 6:00                | ・開式                                    |
|     |                     | ・来賓挨拶 小矢部市長、議長、富山県議会議員<br>日本財団、縄文NET会長 |
|     |                     | ・協力者紹介 氷見木材、子撫地区振興会長、市教育長              |
|     |                     | ・経過報告                                  |
|     |                     | ・コース説明                                 |
|     |                     | ・漕ぎ手紹介                                 |
|     |                     | ・出舟祝いの唄と踊り「縄文ごごみの会」-「縄文舟唄」             |
|     |                     | ・糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会への贈り物伝達                  |
|     |                     | 縄文NETの各会から石斧の会へ                        |
|     | 桜町縄文土器の会            | : 縄文土器                                 |
|     | 縄文ごごみの会             | : 縄文ポシエット                              |



小矢部ふるさと学園 : 縄文首飾り

ひょうたんと縄文の会 : 縄文ひょうたん

・漕ぎ手挨拶

出発 6 : 30 拍手で見送り 花火打ち上げ (縄文NETの提供)

### 川下り

・時間 6 : 30 ~ 11 : 30

・区間 子撫川 ~ 小矢部川 ~ 「如意の渡し」 約 25 Km

\* 最初の漕ぎ手 4 人は縄文服を着用

\* 漕ぎ手 各 3 ~ 4 人

\* 漕ぎ手交代 計 6 回

\* 3 回目の交代地点「三日市堰堤」で乾覆 復元の後、再開

海に到着 11 : 30 小矢部川河口付近の「如意の渡し」に到着

### ミーティング兼昼食

・ミーティング 午後の予定と安全第一を確認

富山県セーリング連盟理事長から激励挨拶

・昼食 昼食班が手配した「弁当」

### 海を航海

・時間 12 : 30 ~ 18 : 30

・区間 如意の渡し ~ 岩瀬浜 約 20 Km

\* 予定していた「浜黒崎」の 4 Km 手前で終了 (日没)

\* 漕ぎ手 各 4 人

\* 漕ぎ手交代 計 10 回 (海上及び浜で交代)

\* 丸木舟は、岩瀬浜の海岸に引き上げ

野営 予定していた浜黒崎キャンプ場に移動して、テントに宿泊

・テント設営

・ミーティング 翌日の予定を確認 (出発時間を 5:30 から 4:30 に変更)

・夕食 食事班の準備したバーベキュー

・ボートの排水作業

## (2) 第二日目 8月5日(土)

起床 4 : 00

・朝食 食事班による「おにぎり」

出発準備 4 : 30 岩瀬浜に移動  
丸木舟を海に押し出す

### 海を航海 (午前の部)

・時間 4 : 30 ~ 11 : 30

・区間 岩瀬浜 ~ 経田漁港 約 20 Km

\* 漕ぎ手 各 4 人

\* 漕ぎ手交代 約 10 回 (海上で交代)

\* 当初予定より約 30 分の遅れで「経田漁港」に到着

ミーティング兼昼食 11 : 30 ~ 12 : 30 経田漁港

・ミーティング 午後の予定と漕ぎ方を確認

・昼食 昼食班が手配した「弁当」

### 海を航海 (午後の部)

・時間 12 : 30 ~ 18 : 30

・区間 経田漁港 ~ あさひ海浜公園 約 20 Km

- \* 波が高くなり、海上での漕ぎ手交代が不可となる
- \* テトラポットの内側を航行することに変更
- \* 漕ぎ手 各 4 人
- \* 漕ぎ手交代 約 15 回
- 風と荒波のため、海上での交代を取り止め、浜で交代
- \* 予定していた「宮崎浜」の 6 Km 手前で終了（日没）
- \* 丸木舟は、あさひ海浜公園の浜に引き上げ

**野営** 「宮崎海岸キャンプ場」での野営の予定を変更し「あさひ海浜公園  
キャンプ場」でテントに宿泊

- ・テント設営
- ・ミーティング 翌日の予定を確認（出発時間を 5:30 から 4:30 に変更）
- ・夕食 食事班の準備したカレーライス
- ・ボートの排水作業など

### (3) 第三日目 8月6日(日)

- 起床** 4 : 0 0
- ・朝食 食事班による「おにぎり」
- 出発準備** 4 : 3 0 あさひ海浜公園の浜で丸木舟を海に押し出す
- 海を航海**
- ・時間 4 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0
  - ・区間 あさひ海浜公園浜 ~ 糸魚川市須沢臨海公園沖 **約 2.5 Km**
  - \* 漕ぎ手 各 4 人
  - \* 漕ぎ手交代 約 15 回（海上で交代）
  - \* 親不知沖で潮の流れが逆流となり、速度が落ちる
  - \* 昼食は、伴走船の上で「おにぎり」
  - \* 伴走ボートで流れの緩い区域を探し、移動しながら航行
  - \* 当初予定より約 30 分遅れで「須沢臨海公園」沖に到着
  - \* 歓迎の準備の関係で、海上で約 30 分間待機
- 到着** 1 3 : 0 0 糸魚川市須沢臨海公園
- ・最終の漕ぎ手が縄文服に着替え
  - ・糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会ほか一般の方の歓迎を受ける **約 200 人**
  - ・感謝の祈り ~ 海の神、川の神、山の神に感謝の祈りを捧げる

#### 歓迎セレモニー

- ・時間 1 3 : 3 0
- ・場所 糸魚川市須沢臨海公園
- ・主催 「糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会」
- 歓迎挨拶 同友の会会長
- 御礼挨拶 石斧の会長
- 記念写真

\* 伴走船は、富山新港へ帰港

#### 歓迎交流会

- ・時間 1 5 : 0 0
- ・場所 糸魚川市長者ヶ原遺跡
- ・主催 「糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会」
- 歓迎挨拶 同友の会会長、糸魚川市教育長
- 御礼挨拶 石斧の会長
- 贈り物交換 小矢部 糸魚川
- ・縄文土器

- ・縄文首飾り
  - ・縄文ひょうたん
  - ・縄文ポシェット
- 糸魚川 小矢部
- ・翡翠（本物）原石の割り符
  - ・翡翠（本物）の首飾り
  - ・蛇紋岩の石斧

歓談・交流 縄文風の料理に舌鼓

**最終ミーティング** 17:00 長者ヶ原遺跡駐車場

- ・帰路の確認 伴走車への分乗と安全確認

#### 帰路

- ・丸木舟は、ユニック車に積み込み、搬送
- ・参加者は、伴走車にて陸路、帰宅（上市町、富山市、高岡市、小矢部市等の各方面へ帰宅）

## 5 事業実施後の取り組み

### （１）到達祝賀会の開催

8月19日 石斧の会打ち合せ

9月 2日 到達祝賀会開催

・場所 小矢部市桜町 JOMON パーク

・参加 参加ボランティア、縄文NET、小矢部市教育委員会ほか  
約100人参加

### （２）記録の作成

感想文の募集・整理

記録写真の整理

報道記録の整理

記録映像の整理 別添「DVD」

各種大会で報告

・平成18年10月 7日 「全国縄文市民サミット」で報告  
場所 函館市

・平成19年 2月25日 小矢部市社会教育大会  
場所 小矢部市「クロスランドおやべ」

記念誌の発行

・平成19年度に発刊 各種講演会・学習会等で活用

## 6 事業成果の総括

今回の事業を成功裡に終えたことによって、次の点が大きな成果として得られたと考える。

### 1 丸木舟の制作と完成

直径 1.1 m の巨大な杉は、近年の山には無く、事業の実施は、最初から大きな壁に阻まれたが、心ある人からの原木の提供をはじめ、多くのボランティアの協力により、手作りの丸木舟が 7 月 8 日に完成した。

また、愛称募集や重量当てクイズの取組みは、丸木舟に愛着と関心をもってもらううえで効果的であった。

### 2 子供達に伝えることができた縄文の歴史とロマン

丸木舟の制作作業に多くの子供達の参加を得た。夢中になって石斧で木を彫る姿に、感心しつつ、子供達には、言葉よりも体験こそが「縄文ロマン」を伝えると実感した。

### 3 ボランティアの輪の広がり

今回の事業の呼びかけに対して、航海の三日間においては、市内外から 20 歳から 63 歳までの男女、総勢約 60 名のボランティアの協力を得ることができた。丸木舟の制作などの準備過程を含めると、延べ約 900 名が携わった。

このような大きなボランティアのつながりができたことは、大きな成果であり、その継続を図りつつ、更に大きな輪になるよう育てていきたい

### 4 小矢部市内の縄文ボランティア団体相互の交流の場づくり

今回の事業をすすめるにあたって、小矢部市内の各縄文ボランティア団体から、それぞれに協力をしていただいた。

進水式や出舟式でのオリジナル曲による唄と踊りの披露、糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会への贈り物の制作などを通じて、相互の交流が深まった

### 5 糸魚川市との交流が生まれる

今回の事業をすすめていく過程で、糸魚川市長者ヶ原遺跡友の会との交流が生まれた。友の会からは、二日目の野営地への差し入れによる激励をはじめ、到着地の須沢臨海公園沖でのボートによる出迎え、須沢臨海公園での歓迎セレモニー、長者ヶ原遺跡での歓迎交流会の開催など、多大な協力をいただいた。縄文丸木舟の航海を通じて生まれた交流は、今後も大切に続けていきたい

### 6 縄文時代の「翡翠」と「蛇紋岩」の海の交易航路を実証

桜町遺跡の縄文人と糸魚川市長者ヶ原遺跡の縄文人が、日本海を丸木舟で交易していた可能性を実証した。

なお、長者ヶ原遺跡友の会の厚意により、「翡翠」の勾玉と「蛇紋岩」の石斧を贈っていただき、事業名のとおり、本当に「翡翠と蛇紋岩を求めて」を実現することができた。

### 7 報道機関の協力と人々の関心の高まり

今回の事業には、様々な場面で報道機関に協力をしていただいた。丸木舟の原木の情報提供依頼をはじめ、準備過程の各イベントの参加者の募集、漕ぎ手ボランティアの募集などを掲載していただいた。また、各イベントの結果も積極的に新聞、テレビ、ラジオで報道していただき、多くの人の関心を高めていただいた。

**8 桜町遺跡を広く P R**

今回の事業が多くの人に注目されたことによって、桜町遺跡の存在、歴史的価値を県内外の多くの人に P R することができた。

**9 小矢部市を広く P R**

桜町遺跡の P R を通じて、小矢部市の名を広く P R することができた

\* 魚津沖の丸木舟の航行を応援する陸上班の側で「あれは小矢部から来た丸木舟だ」と奥さんに説明していた中年夫婦、「昼から待っていた」と 3 時間近くも朝日の海岸で待ち、応援してくれた人たちが印象的だった。

**1 0 地域に「元気の種」を蒔く**

「やればできる」。縄文文化に魅せられた石斧の会が行なった今回の事業は、これからの地域社会を「元気」にしていく大きな「種」を蒔いたものと思う。石斧の会は、引き続き、古代ロマンを求めつつ、情報発信できる取り組みを続けることによって、この「種」を育てていきたいと思う。

**1 1 海を舞台にした古代のロマンと夢を伝える**

当初、実現は困難かと思われた今回の事業は、夢に向かってねばり強く挑戦し続け、ついには達成したことで、現代人が失いかけている「ロマンと夢」を見て、追いかけることの楽しさ、そして 頭で考えるだけでなく実際にやってみることの大切さ、その中から得られる感動の素晴らしさを人々に伝えたいと思われる。

自然を畏怖しながらも壮大な海に挑む人間の姿、古代人の知恵と勇気への賞賛...丸木舟の航海は、様々な感慨を現代人の心の中に残したものと思う。

**1 2 縄文文化と日本海の関わりへの関心を高める**

以上の取り組みを通じて、大きな目標の一つであった「縄文文化と日本海との関わりに対して多くの人々の関心を高める」という目標が達成できたものと思う。

この記念誌は、今後も、今回の事業の成果を後世に語り継ぐうえで、重要な役割を果たしてくれるものと確信する。